

第 40 回知的サロン

「奈良の寺」

2015.10.22

21 世紀ひょうご市民学会

松原宏治

1. 仏教の公伝

日本に仏教が公式に伝えられたのは、『上宮聖徳法王帝説』によると 538 年、『日本書紀』では 552 年（欽明 13 年）に、百済の聖明王から仏像や経典が送られてきたことが記されている。

また、7 日本で初めて造られた本格的な寺院は、587 年（用明 2 年）発願、596 年（推古 4 年）に完成した飛鳥寺である。

2. 国宝

現在、奈良県には 1837 の寺院（2009 年）がある。これらのうち国宝建造物として 64 件が指定され、また国宝彫刻（仏像）は 71 件にのぼる。いずれもわが国で最多の 1 位である。ちなみに 2 位は京都府で国宝建造物は 50 件、国宝彫刻（仏像）は 37 件である。

（国宝）

文化財保護法（1950 年（昭和 25 年）によって国が指定した有形文化財（重要文化財）のうち「世界文化の見地から価値の高いたぐいなき国民の宝」たるものであるとして国（文部科学大臣）が指定したものを（文化財保護法第 27 条第 2 項）を国宝といい、建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料に区分される。新法制定により、旧法「古社寺保存法」（1897 年（明治 30 年）で国宝とされていたもの（宝物類 5,824 件、建造物 1,059 件）はすべて「重要文化財」とされ、「重要文化財」のなかから、あらためて「国宝」に指定がされた（1951 年（昭和 26 年）6 月 9 日付）。

3. 世界遺産に登録されたもの

(1) 法隆寺地域の仏教建造物（斑鳩町）

法隆寺、法起寺

(2) 古都奈良の文化財（奈良市）

平城宮跡、東大寺、興福寺、唐招提寺、春日大社、薬師寺、元興寺、春日山原生林

(3) 紀伊山地の霊場と参詣道

五條市（旧大塔村）、吉野町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村（和歌山県、三重県）

4. 代表的なお寺

奈良の代表的なお寺として、「大和路のみ仏たち～奈良三十三か寺めぐり～」（大橋一章・森野勝編 グラフ社）からいくつかを紹介する。

〔奈良市街〕

東大寺：（国宝）法華堂（三月堂）、転害門、本坊経庫、正倉院、鐘楼、開山堂、南大門、金堂（大仏殿）、八角灯笼、二月堂。

興福寺：710年に藤原不比等によって現在地に建立。藤原氏の氏寺。(国宝)北円堂、三重塔、五重塔、東金堂

元興寺：(がんごうじ)華嚴宗。かつて南都七大寺の一つ。日本最古の寺。

(国宝)木造薬師如来立像と(重文)木造十一面観音立像は奈良国立博物館に寄託されている。

元興寺(極楽坊)：真言律宗。(国宝)五重小塔、禅室、本堂。もと元興寺僧坊遺構で智光曼荼羅発祥の別院的存在。もう一つ元興寺

十輪院：(国宝)本堂。(重文)石仏龕(せきぶつがん)

福地院：(重文)地藏菩薩座像(木像)

新薬師寺：天平19年(747)聖武天皇眼病平癒御祈願のために光明皇后が建立された。

白毫寺(びやくごうじ)：真言律宗。天智天皇の皇子で、桓武天皇の祖父である志貴皇子の山荘を寺院にしたのが始まりといわれる。境内は眺望が良く、春は五色椿、秋にはハギが咲く花の寺。

大安寺：南都七大寺の一つで、東大寺、西大寺とならんで南大寺と呼ばれるほど壮大な伽藍を誇っていた。しかし平安時代に何度か火災や落雷に見舞われ、12世紀ごろに再建されたものの鎌倉時代以降に衰退した。現在はがん封じの寺として有名。

頭塔(ずとう)：土壇からなる非常に珍しい奈良時代の塔。東大寺・僧実中和尚が築いたとされる。

〔佐紀・佐保路〕

興福院：尼寺、豊臣・徳川家の庇護をうけた。

不退寺：不退転法輪寺。南門、本堂は国重文である。

法華寺：総国分尼寺(法華滅罪寺)本堂に安置されている秘仏十一面観音立像(国宝)のモデルは光明皇后と伝える。

西大寺：真言律宗総本山。

秋篠寺：伝・伎芸天像(重文)、本堂(国宝)。開創は奈良時代の宝亀6年(775)。

〔西ノ京〕

薬師寺：(国宝)東塔、東院堂。飛鳥時代の白鳳9年(680)、天武天皇が皇后の病氣平癒を祈り明日香浄見原宮に発願した本薬師寺が平城京遷都にともない移された。

唐招提寺：南都六宗の一つ律宗の総本山。創建は天平宝字3(759)年。鑑真和上ゆかりの寺。

(国宝)金堂、講堂、経蔵、宝蔵、鼓楼

〔斑鳩〕

法隆寺：(国宝)金堂、五重塔、中門、廻廊、東室、経蔵、東院夢殿、東院伝法堂、東大門、食堂、鐘楼、大講堂、綱封蔵、三経院及西室、西円堂、聖霊院、東院鐘楼、南大門

中宮寺：法華寺・円照寺とならぶ大和三門跡寺の一つ

法輪寺：創設に二説あり。聖徳太子の子、山背皇子が太子の病氣平癒を願って建立したといい、もう一つは飛鳥時代の天智9年(670)以降に百濟開法師らが造寺したともいう。

法起寺：白鳳時代の三重塔(国宝)は現存最大最古のもの。

〔飛鳥・当麻〕

飛鳥寺：崇峻元年(588年)、現在では安居院(あんどいん)という小堂をもつ真言宗の一寺院。

岡 寺：西国三十三所第7番札所。(国宝)義淵僧正座像

橘 寺：聖徳太子が建立した尼寺。

安倍文殊院：知恵の文殊。創建は飛鳥時代の大化元年（645）。

聖林寺：藤原鎌足の長男定慧の創建と伝えられる。本尊は石造延命地藏尊像で、安産・子授けの地藏として知られる。（国宝）木心乾漆十一面観音がある。

石位寺：三尊石仏（重文）は日本に伝わる最も古い石仏。（参拝、拝観は要予約）。

当麻寺：当麻氏の氏寺、浄土信仰。（国宝）本堂曼荼羅堂、東塔、西塔

〔長谷・室生〕

長谷寺：真言宗豊山派総本山。

室生寺：真言宗室生寺派大本山、女人高野。（国宝）五重塔、金堂、本堂 灌頂堂。

〔柳生街道・南山城〕

円成寺（えんじょうじ）：大日如来座像（国宝）運慶作。全国で最も古い春日造の社殿、春日堂・白山堂（国宝）

浄瑠璃寺：本堂に9体の阿弥陀如来像（国宝）を安置する。九体安置するのは「観無量寿経」に説く「九品往生」の考えに基づくもの。

岩船寺：（がんせんじ）真言律宗。（重文）三重塔、十三重石塔、五輪塔ほか。

浄瑠璃寺への道には石仏がある。

蟹満寺（京都・山城町）：（国宝）釈迦如来坐像は薬師寺金堂の本尊薬師如来像とならぶ金銅仏の大作。像高2.4メートルである。

※（南都七大寺：薬師寺、西大寺、法輪寺、東大寺、興福寺、元興寺、大安寺）

（参考文献）

- ・新全国寺社・仏像ガイド 美術出版社 2006年3月10日
- ・大和路のみ仏たち～奈良三十三か寺めぐり～大橋一章、森野勝 グラフ社 平成21年6月10日
- ・奈良県の歴史散歩 上奈良北部 奈良県高等学校教科等研究会歴史部会 山川出版社

2007年6月20日

表 1. 国宝

(建造物) 都府県別

国宝件数	都府県名	都府県数
64	奈良	1
50	京都	1
22	滋賀	1
11	兵庫	1
7	和歌山、広島、栃木	3
5	長野、大阪	2
3	宮城、岐阜、愛知、山口、愛媛、長崎	6
2	福井、山梨、島根、岡山、香川、大分、東京	7
1	岩手、山形、福島、富山、埼玉、群馬、神奈川 静岡、鳥取、高知、熊本	11
221		33 都府県

(彫刻) 都府県別

都府県名	市町村名	国宝の件数
岩手県	平泉町	1
福島県	湯川村	1
東京都	港区	1
神奈川県	鎌倉市	1
静岡県	伊豆の国市	1
滋賀県 (4)	大津市	3
	長浜市	1
京都府 (37)	木津川市	3
	京田辺市	1
	京都市	30
	宇治市	3
大阪府 (4)	藤井寺市	2
	交野市	1
	河内長野市	1
兵庫県	小野市	1
奈良県 (71)	明日香村	1
	斑鳩町	18
	奈良市	45
	桜井市	2

	宇陀市	3
	葛城市	1
	吉野町	1
和歌山県 (5)	日高川町	1
	高野町	2
	九度山町	1
	新宮市	1
大分県	臼杵市	1
	合計	128